

2004年12月22日

国内初の公募型産学共同研究制度「旭硝子リサーチコラボレーション制度」 第1回プログラム採択研究課題決定

旭硝子株式会社

旭硝子株式会社（本社：東京、社長：門松正宏）は、本年5月に企業としては初めて、自社のニーズ・シーズに基づいた公募方式により、大学あるいは公的研究機関等と共同研究を行う制度（旭硝子リサーチコラボレーション制度）を導入しています。「ガラスなどの無機透明材料」及び「フッ素化学」の2分野で公募を行った結果、数十件の応募の中から制度初の共同研究テーマとして、次の研究課題を選定しました。これらの研究課題に対しては、当社がそれぞれ研究材料と年間約2千万円の研究費を3年間支給します。

- ・ 東京大学大学院 工学系研究科 教授 野崎京子
「フッ素系モノマーの精密重合に関する研究」
- ・ 長岡技術科学大学 化学系 助教授 藤原巧
「レーザーによるガラスの微細加工法を用いた光学部材の開発」

また、上記の選に漏れた中から優れた研究課題を十数点選出し、応募者に対して研究支援を実施します。研究支援の内容と応募者の所属大学は、次の通りです。

- ・ 研究材料と研究資金(1件あたり約百万円)の提供
東京大学、東京農工大学、東京工業大学、日本医科大学、名古屋大学、岐阜大学、京都工芸繊維大学(2件)、大阪大学、九州大学
- ・ 研究材料の提供
群馬大学、東京工業大学(2件)、学習院大学、理化学研究所、分子科学研究所、大阪大学

当社は、共同研究により得られた成果を社内で積極的に活用し、継続的に新事業・新商品を創出することにより、高収益・高成長のグローバル優良企業を目指します。また、産学連携による価値創造を幅広く推進するために、来年度も引き続き本制度を実施します。

なお、来年度の募集要項は2005年5月に公表の予定です。

以上

<ご参考> 本年度研究課題決定にあたっての、募集要項は下記をご参照ください。

(本年度の募集は8月10日に締め切られました。)

<http://www.agc.co.jp/collaboration/index2.html>

メディア関連のお問い合わせ先：旭硝子株広報室長 川上 真一

(担当：波多野 TEL:03-3218-5915、Email:info-pr@agc.co.jp)

研究機関からのお問い合わせ先：旭硝子株中央研究所 増井 暁夫

(TEL:045-374-8715、Email:asahi-collaboration@agc.co.jp)